

NO. **93**
平成15年7月1日発行

S H I M I N P H O T O

市民フォト

KAGOSHIMA

鹿児島





噴 水
【大きな水車】
～東千石町～

CONTENTS

【特集】ファッションが街を動かす……	3
クローズアップ……	12
福元正子さん	
学校探訪……	14
長田中学校	
カメラトピックス……	16
ハロー鹿兒島……	18
オルハン・ウヤンさん	
私の好きな場所……	20
福永法弘さん	
ふるさと再発見／美術編……	22
木村探元	
あなたのフォトサロン……	24
鹿兒島工業高等学校写真部	
よかタイム……	26
下村カツ子さん	
街角ウォッチング……	27
高見馬場	
わが家の味じまん……	28
青木さんファミリー	
館のたからもの……	29
維新ふるさと館	
わが町上空／支所編……	30
吉野支所周辺	

★表紙写真説明

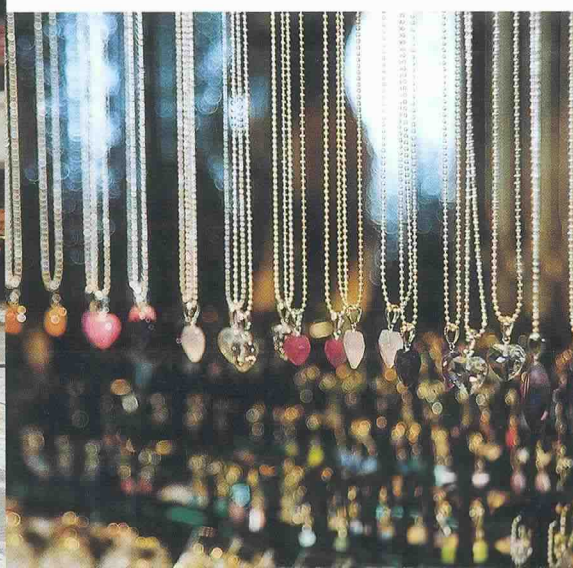
自分でデザインした服を身にまとい、街へ。人それぞれにスタイルがあるからこそ、街はおもしろい。



ファッションは個人の好み、ファッションなんてどの街も大して変わらない。
でも、街行く人のファッションは街の雰囲気を決めるとても大切な要素。
個性が輝けば街も輝く。人と街がもつ魅力的になるための「街とファッション」、
一緒に考えてみませんか。

特集

ファッションが 街を動かす





ファッションで見る 鹿児島という街

街の動きを把握し、情報を発信する側の人たちは
鹿児島島の街とファッションをどうとらえているのだろうか。

editor
ファッションを生活の一部として
楽しむことで、街も活気づく

情報誌編集部 里山 真紀さん

若い層を中心に流行に敏感な人が増えていて、今も発展途上の段階にあると考えます。

ただ流行を追いかけるのではなく、その中から自分の個性を生かすもの、自らが身に付けていて心地よいと感じるものを選びとっていきけるようになる、良いのではないだろうか。ファッションを生活の一部として楽しむことで、人々の気持ちが豊かになれば、街もおのずと活気づいていくと考えます。

サラリーマンを中心とした大人の男性にも、もつとファッションを楽しんでほしいですね。

stylist
ファッションとは自分をどう
見せたいかという意識の表れ

テレビ局スタイリスト 尾崎 千世さん

天文館を歩いていて気になるのは、10代、20代の人たちがみんな同じような格好をして歩いていることですね。

ファッションは機能性が大切であるとともに、自分をどう見せたいかという意識の表れでもあります。流行のものをそのまま着ることが「おしゃれ」ではなく、いかに自分が魅力的に見えるように取り入れていくかが大切です。

「自分なりのテーマ」を持って服を選ぶとまた違ってくると思いますよ。



editor
鹿児島の若者は
ファッションへの探究心が強い

情報誌編集部 階元 哲郎さん

鹿児島の若者はファッションへの関心が高く、よく勉強していると思います。

しかし、自分に似合う、似合わないを判断せず、ただ流行のものを取り入れる傾向があるのではないだろうか。その服が自分に似合っているか、スタイルに合っているかをしっかりと見極めることが大切です。カチツとしたモード系からカジュアル系、ストリート系まで幅広いスタイルでオシャレな人が増えると街全体がよい雰囲気になると思います。



editor
自分の個性を発揮する手段として
ファッションを楽しもう

情報誌編集部 前田 美貴子さん

皆さん本当におしゃれになってきているのは、それぞれが自分たちの好きなものを身に付け、自己表現の一つとしてファッションをとらえているからではないでしょうか。自分の個性を発揮する手段としてファッションを楽しめばいいと思います。

子どもからお年寄りまですべての人がファッションを楽しめる街になってほしいと思います。



planner
屋外広告も街の風景の一部
アイディアもファッションと考え、
発信していきたい

広告代理店プランナー 宮田 博之さん

カタチだけの街並み、ウワベだけのファッションではなく、精神的な部分がアウトプットされるのが理想的だと思います。

広告の世界ではOOH(Out Of Home: 広告電車や屋外広告など人が自宅以外の場所で接触する媒体の総称)というメディアが注目されています。看板やポスターなども街の風景の一部。街をもっと元気にするために、広告を通じていろんなものを発信し続けたいと思います。



靴屋店長

村中 節子さん



鹿児島は保守的なスタイルが多いようですが、南国らしい明るい色使いが多く見られます。若い人のファッションを見ると流行がわかります。

最近良くなってきましたが、歩道のベンチや植え込みも使い方を工夫してほしいですね。自転車などの撤去はとてもよいことでした。

鹿児島の街は少し静か過ぎるので、流行の音楽などで活気を出して、にぎやかな雰囲気にしてほしいです。

若い人はもちろん、もっと中高年の方をファッションナブルにするために、歩行者天国、フリーマーケットなどのイベントを増やせないものではないでしょうか。お気に入りのファッションで出掛ける場所、イベントが少ないように思います。

ウエスタンショップ経営

峯 幸一さん



通りの若者のファッションは個性があるようで、個性がない。でも、若者の「おしゃれになりたい」という気持ちは大人になる過程として大切な期間ですね。

以前は大島紬の仕事をしていたのですが、もっと振興してほしいですね。天文館の通りでファッションショーをしたり、そういった工夫はできると思います。

鹿児島ならではの素材を生かす、地域産業を振興する。それが鹿児島の文化になればいいと思います。

ファッションが 人と街を彩る

天文館周辺のお店の人たちは鹿児島の街のファッションをどう考えているのだろうか。

服飾店経営

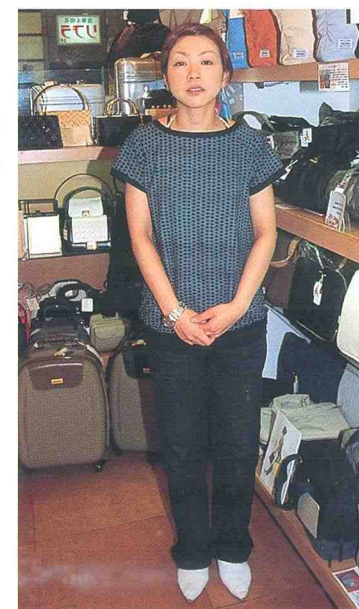
中間 健さん・四元 みゆきさん



ファッションは街の雰囲気をつくり出す重要な要素であると思います。鹿児島は他の県に比べて個性的な人が多いです。新しいスタイルを積極的に取り入れていけばもっと良くなると思います。

かばん店勤務

樋口 明美さん



ファッションなくして街は栄えないと思います。皆、ラフなファッションが多いですが、おしゃれをして出かける場所が少ないのではないのでしょうか。

公園などを使って、浴衣で行ける夏祭りなど若い人が集い、楽しめる場所を作してほしいです。

洋服店勤務

前田 忠亮さん

女性は平均よりレベルが高いと思います。男性がもっとファッション誌やテレビなどに関心を持ち、自分らしいおしゃれをしてほしいですね。特に大人は若い人以上にスーツの着こなしや姿勢に気配りをしてほしいですね。

おしゃれな街並みが人のファッションに妥協させない雰囲気をつくり出します。おしゃれして歩きたいと思う通りがほしいですね。

エステティックサロン店長

高市 キヨ子さん



感じ良くあいさつするのと同じで、ファッションは自己表現の大切な分野だと思います。いろいろな考え、生き方が存在するほうが楽しいですし、それに触れることに生きている喜びを感じます。

また、歩き方にもその人の生き方が現れると思いますが、それは普段の積み重ねが自然と出るものです。

自立し、それぞれのファッションをより楽しむ人がもっと増えれば、街の活性化、雰囲気づくりにつながると思います。

服飾店経営

野口 直子さん



ファッションは街の雰囲気をつくり出す一つの要素だと思います。例えば近代的な建築物や自然の緑など、ほかのいろんなものとの融合がうまくいけば、最高の街づくりができると思います。

街の人のファッションを見て思うのは、メディアに対して素直だということですね。そのため若干個性がないと思われがち。ベースとなる大型店や専門店の若い世代の人たちがディスプレイや商品内容などもっと何かを打ち出していかなければならないと思います。

他のものを受け入れ、吸収し、成長していくことが、これからの鹿児島に必要なことだと思います。

時計店勤務

手島 則章さん

若い人がもっときれいなファッションで個性を楽しんだら良いと思います。旅行者から見て天文館のイメージがあまり良くないようです。通りを汚す人、通りにごみを捨てる人が多いですね。マナーが悪い印象を受けます。

皆同じ格好、同じブランドなので、個性的な方に増えてほしいです。



「大島紬とは絹100%の平織のものをいいますが、このシャツは縦糸に絹・麻・綿、横糸に綿を使い、紬の技法でストライプを作り出しました。色も染料だけでなく草木を使ったりして、

皆さんが従来イメージする、大島紬の濃い色合いとは異なるものを出しています。出来上がった反物や服、小物は全国で開催される物産展などに持って行きます。評判は上々ですが、売れるためには、お客さんから喜ばれ、必要とされるものでなければなりません。自分の感性を高めて、常にグレードアップしたものを目指しています。大島紬の販売はこの不況下でなかなか厳しい。生き残るために自分の技術をどう生かすか—そこから始めたことです。いつか自分の人生を振り返ったとき、この仕事で生きてこれたと思えたら満足でしょうね。これからも地道にやっていきます」。

鹿児島が誇る オリジナリテイとクオリテイ

「大島紬の新しい挑戦」

ファッションに鹿児島らしさを求めるのは難しい。しかし、鹿児島が誇る伝統工芸、大島紬の工房では、その技術を生かしながら独自の製品を生み出そうとする取り組みが続けられている。

その工房の一つを経営する益田勇吉さんに聞いた。

「大島紬とは絹100%の平織のものをいいますが、このシャツは縦糸に絹・麻・綿、横糸に綿を使い、紬の技法でストライプを作り出しました。



若者が集まる場所がもっとほしいです。
将来はファッション関係の仕事に就きたい。
前田 裕太郎さん(テンパーク通り)



みんなセンスがよいと思う。
国料 理恵さん(テンパーク通り)



最近新しいお店が増えてきていいと思う。
大喜 孝紀さん・一眞 章乃さん(中央公園)

街とあなたとファッションと

— 街を歩いて思うこと教えてください —



娘もこのごろファッションに興味を持ち始めました。若い男の子たちがズボンの裾をひきずって歩いてますが、大丈夫でしょうか。
赤尾 友代さん・菜々美さん(七味小路)



流行に流されすぎて、個性がない。もっとショップを増やしてほしい。
貴島 真希さん(テンパーク通り)



街全体がおしゃれになりましたね。自分が子どものころ、着られなかった色の子どもには着せたいです。
園田 江美子さん・海響くん(びらもーる)

「伝統のものと、それを生かした新しいもの。両方あっていいと思う」



街の雰囲気は 市民の皆さんが作り出す

市長に聞く



鹿児島の人々は自然と センスを磨いている

街を歩く市民の皆さんのファッションを見ると、おしゃれなセンスを持った人が多いですね。

鹿児島は地理的には大都会から離れていますが、昔から他の地域との交流の機会が多かったこと、毎日見えて暮らす桜島や錦江湾などの自然の美しさが人々のセンスを磨いてきたのではないのでしょうか。

また街自体に歴史、文化に根差した

街もファッションも内側から にじみ出るものが大切

普段着るスーツやネクタイなどは妻と二人で選びます。男性としての自分の好みだけでなく、女性の心を加えることで、自信を持つて着ることができ

ますね。
自分のファッションで気を遣っていることは、会った人に嫌な思いをさせず、さわやかな印象を持っていただけのこと。そのためには身に着けるものだけでなく、自分の内面からにじみ出るものも大事ではないでしょうか。
これは、街づくりにも通じますね。市民の皆さん一人一人が協力し合って作り出す街の雰囲気。そこには人と街が持つていく鹿児島らしさが自然とにじみ出てくると思います。人も街もセンスのよさに自信を持ちましょう。

意識が変われば、街が変わる ～まちづくりサークルからの提案～



鹿児島県立短期大学まちづくりサークル「Free Commune」。

タウンウォッチングやアンケート調査など、街の動きを自分たちの目で感じ取っているメンバーの皆さんに鹿児島市の街とファッションのこれからについて語ってもらった。

「街全体が様々な個性を受け入れる雰囲気づくりがもっと必要だと思います。

例えば、自分が『きれいだな、好きだな』と思う色の服があっても、『この色で街を歩くと、目立つからやめよう』と思ってしまうと、個性って、どんどんなくなってしまうと思います。

そして無難な色、デザインでみんな同じような格好をする。同じような店にしか行かない。それでは街は発展していかないのではないのでしょうか。

いい意味での「なんでもあり」という雰囲気があれば、街はもっと元気になっていくと思います。

また、若者が共感できるイベントを定期的に開催するのもいいと思います」。

もっと魅力的に、もっと個性的に 描いた夢を身にまとう～服飾専門学校生徒たち

鹿児島市内にある服飾専門学校。ここでは約50人の生徒たちが、自分たちの思い描いた服を自身の手で実際に創り出す技術を学んでいる。

まずデザイン画を描く。それは「こんな服を着てみたい」という自分の夢であったり、アルバイト先の服飾店やファッション誌を見て、ヒントを得たものでもある。

そして、生地を選ぶ。どんな素材ならこのシルエットを実現できるか。デザイン画を描いたときには想像できない苦労があるという。

自分で作った服で街に出掛けることもよくあるという彼女たち。これからますますセンスアップした、個性豊かな作品が街を行き交うことになりそうだ。



街とファッション 相乗効果で もっと輝く

人が暮らすのに必要な「衣・食・住」のうち、「衣・着る」ことは、他の二つに比べて、どこか意識から外れがちではないだろうか。

しかし、人は着るには生きていけない。生活に密着したものだからこそ、街の雰囲気や活気と深く結びついている。
ファッションに鹿児島らしさはない。そう思われがちだが、鹿児島の街の人々はとても真剣に街とファッションを考えている。
私たちが日常生活を過ごしながらも、気に入ったファッションでちょっと晴々とした気持ちで歩ける—そんな街づくりを進めていけば、歩く一人ひとりのその表情がもっと街を輝かせていくことになるのかもしれない。

福元 正子さん

昭和30年生まれ。文部科学省認定家庭料理技能検定1級合格。伊敷公民館で男性料理教室の講師を務める。



男性料理教室で

子育てとパートに追われた生活から、一念発起して料理の世界へ飛び込んだ。そして、持ち前の向上心で超難関の資格に合格。「料理は奥が深い」。自分探しの旅はまだ続く。

貫見イツ子さんの食に対する姿勢、考え方に自省させられた。

子どもたちにはたくさん食べさせさえすればいいと思っていたが、質より量の手抜き料理。「食は親と子の心をつなぐよりどころなのよ」という先生の言葉が胸に響いた。本格的に学んみたい。思いは募った。

【家庭料理技能検定1級に合格】料理講師として活躍する契機は10年前に訪れた。当時、子育てとパートの両立に悩んでいました。体調まで悪くなつて。そんな時、何気なく料理教室をのぞいてみたんです。そこで出会った恩師、

「実はそのころ、家庭だけで一生を終えていいのか、何か社会参加できることはないのか」という思いもありました。それが、料理だつたんですね。」それからの活躍は華々しい。キノコ

料理やサツマイモ料理のコンテストなどで、次々と最優秀賞に輝いた。そして、一番目標にしていた家庭料理技能検定1級を取得できた。

「すつかり堂に入った講師ぶり」

伊敷公民館の調理室。男性料理教室の現場は、パワフルで大盛況だ。男性たちを指導するのが、紅一点の福元さん。講座では教え方も工夫している。最近おもしろくなつた写真の趣味を生かし、デジカメで撮つた料理のできあがりやパソコンに取り込んでレシピをつくつて

配っている。

男性たちの手際は案外スムーズ。30人近くの受講者たちを見守る福元さんの眼は温かい。あちこちで「せんせい」と呼ぶ声が響く。それに即座に反応し、かけつける。やさしい指導に素直に応じる受講者たち。

「食で心を満たす」

「食」をめぐる人々の関心は、これまでになく高まっている。特に、BSEや産地偽装問題に端を発した食の安全性が注目を集めるようになった。

「農業をしていた父の手伝いで、私もキュウリなど収穫して市場に出したりした経験があるんですよ。それから、父が自ら料理をつくってくれたりもし

料理の世界で 自分をみつけた



ました。だから、食材の大事さが、本当の野菜のおいしさが分かる。わが家で作つた野菜を自分で調理して食べる。知らず知らずのうちに、スローフードを実践していたわけだ。

そのお父さんが亡くなる直前、久しぶりに両親と一緒に食べたのが「鯨のせしから」。今こそあまり手に入らないが、子どものころは山あいのいなかゆえ、貴重なタンパク源としてよく食べていた。家庭料理は、ふるさとを思い出す懐かしい味でもある。

「食は、欲を満たすだけでなく、心も満たすんです」。

「病気になる料理をつくる」

1級の目標を達成した福元さんは、やつと料理の世界の入口に立ったと感じている。これからも、周囲と一緒に勉強しながら、新しいステップに踏み出していきたいと話す。

これから取り組みたいのは、病気になるための料理。ただ、それだけでは味気ないものになってしまうので、健康を維持しながら、おいしく食べられる料理が目標だ。

料理人生10年。充実した日々が続いている。



創立 昭和22年5月 生徒数 254人 (平成15年6月1日現在)

1クラス平均30人弱。教室の前後に分かれてさらにきめ細やかな授業も行われる



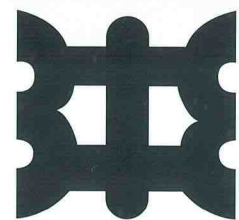
長田の森。延々と続く木々とベンチ



薩摩藩が琉球を通じて唐と貿易をするための役所があった

学校探訪

長田中学校



市内で3番目に創立。校章に「3」が生かされている



錦江湾を挟んで桜島が一番大きく見える中学校



探勝園で吟行会の三年生



北埠頭でスケッチ大会の一年生



スケッチもそこそここに弁当



5月25日 渋谷・鹿児島おはら祭
好天に恵まれ、鹿児島からの14連300人を含む52連1650人が道玄坂などで軽快な踊りを披露しました。



アユ漁解禁(甲突川)



5月12日 防災点検
今年は8・6水害から10年。梅雨や台風などの雨期を前に、災害危険箇所を点検しました。



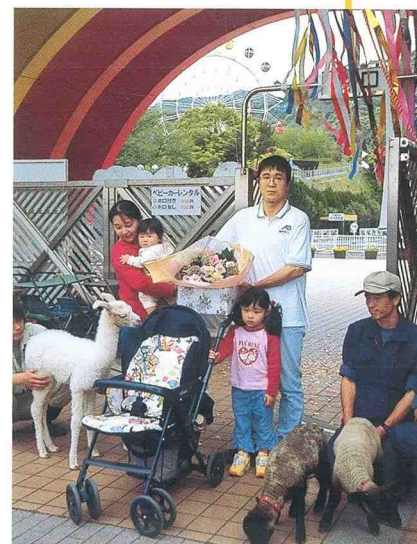
5月18日 畜産フェスタ
畜産への理解を深めてもらうための催し。子どもたちが家畜とのふれあいやたまごのつかみ取りなどを楽しみました。



5月20日 市立美術館新館長就任
県立短期大学名誉教授で自らも画家として活動する文田哲雄氏が就任。「若い人たちが気軽に来られる美術館にしたい」と抱負を述べました。



6月7日 国際交流の集い
19の国と地域の外国人と市民がふれあい、アフリカの楽器ジャンベの演奏やインドネシアのダンスなどを楽しみました。



4月23日 平川動物公園 入園者1800万人突破
1800万人目の入園者は松元町の一家。今年生まれたばかりのヒツジやラマの赤ちゃんからも歓迎を受けました。



バラ(錦江湾公園)



5月1日 谷山支所に 保健福祉総合相談・案内窓口開設
保健と福祉の相談や案内を行う窓口を開設しました。

4月23日、24日 合併に関する 市民100人会議
合併後のまちづくりの指針となる市町村建設計画に市民の意見を反映させるための会議。一般公募で集まった市民からは活発な意見が相次ぎました。



4月17日 ミッキー・マウス市長表敬訪問
市役所本館入口や庁舎内はミッキー・マウスを一目見ようと多くの人でごった返しました。



ルーピン(慈眼寺公園)



黒海で魚を捕るオルハンさん。「ぼくは海人(ウミンチュ)」と言うだけあって、ダイビングやヨット、スィミングなどマリンスポーツは何でもござれ

チョンマゲないのは 何でだろう

約2年前に日本にやってきたオルハンさん。来日前の日本のイメージは「脇に刀を差した着物姿の侍や忍者がいる国だ」と思っていたんだけど……

でも、同じ研究室や留学生会館に住んでいる仲間と接してみると「生まれ育った国は違っても心は同じ」と感じたと言う。

梅雨のしつとりした 感じも大好き

トルコの気候は日本に似ているそう。だ。「緯度も同じぐらいで、気温は5℃から25℃ぐらい。でも梅雨はない」今、鹿児島は梅雨の真っただ中。さぞかし不快に感じているのではないかいや「梅雨は気にならない。雨の日も大好き」と言う。感性もすっかり日本になじんでいるようだ。

言葉も似ている

オルハンさんが住んでいたのはトルコ北部で黒海に面しているシノップという町。「錦江湾が目の前に広がる鹿児島は、私の故郷に似ている」と言う。

気候や地理も似ているが言葉も似ている。例えば、山の「てっぺん」はトルコ語でテッペ(Tepe)。材料はザイレ(Zaire)、野蛮人はヤバンジ(Yabanci)などなど。なんと、かごま弁にも似ているものもあると言うので教えてもらった。「かわいいことを『ムゼ』っていうけどトルコ語

では「ギューゼ(Güze)」、顔「ツラ」は「スラツツ(Surat)」。主語、述語などの言葉の並びも同じ」道理で流暢な日本語だ。

海にかかわる

オルハンさんは、鹿児島大学大学院水産学研究科で水族学を学んでいる。

「養殖する魚に与える栄養が成長にどのような影響を及ぼすか」という研究だ。トルコでもヒラメやマダイが養殖されており、将来は母国の大学で先生になりたいという夢を持っている。

最後に、ご自身の食事情について尋ねてみた。「トルコでは生の魚を食べる習慣はないけど、今は刺身や寿司も大好き。みそ汁も自分でつくって食べるよ」

でも、当初は日本の食事に慣れず、体重が10キロも落ちたそう。バクラワというトルコの甘いパイ菓子の写真を見せると「日本に来てから食べていないなあ」となつかしそうに笑った。



来日前にトルコで結婚したシミラさんも水産学研究科で学んでいる。カメラを前にはかむシミラさんの表情は日本人のよう

オルハンさんが好きな言葉

- BAŞARIYA GİDEN YOL ÇALIŞMAKTAN GEÇER
欲しいものを手に入れたときは、よく働くことが大切だ
- İNSANLAR FARKLI FARKLI FAKAT GÖNÜLLER AYNIDIR
いろんな人があるけど、心はひとつ
- ŞANS HAZIRLIKLI OLANDAN YANADIR
チャンスを見逃さないためには、事前の準備を怠ってはいけない

【トルコ出身】

オルハン・ウヤンさん

Hello
KAGOSHIMA

「鹿児島で学んだことを
母国の海で生かしたい」



楽しい記憶がこの辺りにしかない 久女の生涯に泣かされます

三年前の北海道支店時代、道内二百十二市町村を一年かけて回って、各市町村にまつわる俳句とエッセイを書きました。ここに転勤になって、やっぱり期待されてるような気がして、鹿児島編に取り組んでいます。自然は北海道の方が上だろうと思ってましたが、鹿児島も面白いですよ。硫黄島のような不思議な島やこんなにも寒いのかという大口なんかがあったりして。句材がバラエティに富んでいますね。県内九十六市町村のうち、あと甕島の四村と十島村が残っています。これがなかなか難しく。これまで二回予定を立てたんですが失敗しています。行き帰りの天気がよくないと行けません。船は天気次第ですぐ欠航しますから。

鹿児島に赴任して一年三ヶ月になります。鹿児島には三十年前、高校二年の冬に一人旅で来たのが最初です。南国なのに雪に降られた懐かしい思い出がありますね。今住んでいるのは平之町の平田公園前のマンションです。この辺りは由緒正しい武家屋敷街だったんですね。今も立派な石

中之平の教会辺り



垣のある家が幾つもありま
すよ。静かで落ち着いていて
格好の散歩コースです。幸
い通勤路でもあるので毎日
歩いています。この界隈で特
に思い入れのある場所はこの教会です。

私は俳句をやっているんで、鹿児島といえば杉田久女が思い浮かぶんです。大正から昭和にかけて、天才とか、異端者とかいわれた俳人です。芸術家として期待していた夫への失望、絶えない夫婦のいさかい、師・高浜虚子へのストーカー的行為、「ホトトギス」除名など、一生を通じてあまりいい思い出がないようなんです。ただ、幼年期に過ごした鹿児島の思い出はいっぱい。当然、生家はどこだろうかと思うわけです。

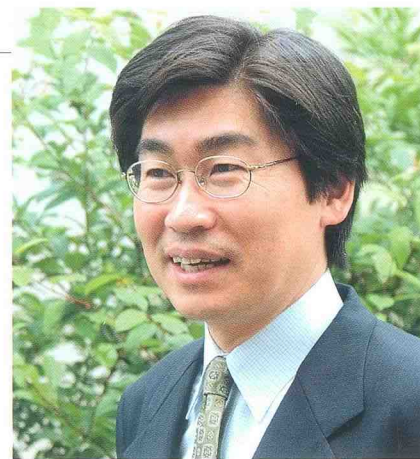
久女は伝記などで平之馬場生まれと書かれてるんです。江戸時代からの古名のような感じがしますが、



平田公園を抜け左前方の先に教会がある

実は明治の初めから明治三十八年までの間に使われていた地名です。字面から何となく、平之町と一緒に

私の好きな場所



日本政策投資銀行 南九州支店長 福永 法弘さん

昭和30年、山口県生まれ
京都大学法学部卒業
俳句結社「天為」(元文部大臣：有馬朗人主宰)同人。俳人協会会員・日本文藝家協会会員。「俳句らぶ」(東京書籍)「北海道212俳句の旅」(北海道新聞社)など、著書多数。

だろうと思ってさらに詳しく調べてみたら、現在の平之町だけではないんです。山下町、東千石・西千石町も含んだ一帯の総称だったんです。

こんなに広がったら生家を特定することはできないだろうと諦めかけていたんですけど、かこしま近代文学館の建設に携わった俳人の淵脇護さんが「中之平のハリストス正教会辺りだ」と教えてくださいました。早速行ってみたんですが、句碑も看板もなく、久女が幼年時代を過ごしたことが分かるようなものは何も残っていませんでした。

かこしま近代文学館に展示してある遺品からは久女の栄光と挫折を感じますが、ここからは、幼い彼女が無邪気に駆け回る姿をイメージするんです。

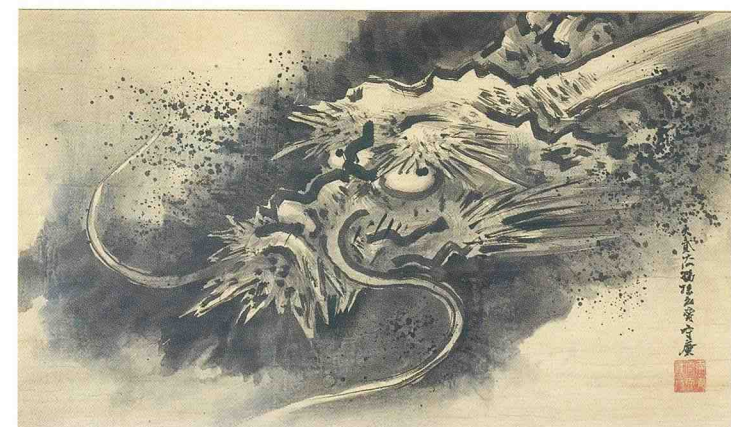
「取材メモ」

中学で短歌詩、高校で小説二本を書いたという文学少年。今も休日は文章書き、図書館での資料調べで一日が終わるといつ。大変博識な方で、目から鱗が落ちるような話ばかり。あつという間の一時間だった。

話に熱が入ったのは杉田久女の時。「人生の楽しい記憶がこの辺りにしかない」と言い切る久女の生涯に泣かされる」という福永さんが句を詠まれた。

緋寒桜咲いて明るき久女の忌

(久女忌は一月二十一日)



木村探元「雲龍図」

木村探元

文市立美術館
山西 健夫

みご たんげん
見事っ探元

今ではあまり使われなくなつたが、鹿兒島の古い方言に「見事っ探元」という言葉がある。絵画に限らず、素晴らしい出来栄を示した事柄に対するほめ言葉である。

探元とは、江戸時代の中ごろ薩摩藩島津家の御用絵師として活躍した木村探元（一六七九～一七六七）のこと。薩摩藩を代表する優れた絵師で、全国的にもその名は広く知られていた。薩摩藩では探元の作品は武家の必需品である。床の間に飾られた掛け軸を前にして、「ほお、見事な探元ですな」という言葉が社交辞令的に交わされていたであろうことが想像できる。そうしたことから先の方言が生まれ、

探元の名は長く鹿兒島の人々の間で語り継がれてきた。

ところが、今日ではその名を知る人も少なくなつてきているように思われる。住宅環境の洋式化に伴い、掛け軸や屏風などの古い形式の絵画を飾る空間が少なくなつてきたことがその要因の一つであろう。探元に限らず、江戸時代の薩摩の絵師たちは次第に忘れ去られつつある。むしろ鹿兒島の美術といえば、黒田清輝などの近代洋画がよく知られている。しかし、江戸期の絵画は鹿兒島の美術文化のルーツといふべきものである。

鹿兒島市立美術館では、木村探元や薩摩の絵師たちの作品を2カ

月ごとに展示替えしながら紹介している。ここに掲載したのはそのうちの寄託品の一点で、木村家の子孫に代々伝えられてきた探元四十二歳ごろの貴重な自画像である。

探元は狩野派を学んだ絵師であるが、深く禅宗を修め、茶道や和歌、漢籍に通じた優れた文化人でもあった。法体にて座す自らの姿を描いた本作品は、近代的な意味の自画像というよりむしろ禅僧の肖像画である頂相という意味合いが強かったと考えられる。題賛を書いたのは清国蘇州出身の徐葆光（？～一七二三）で、一七一九年に琉球王尚敬の冊封副使として那覇を訪れている。直接探元と出会ったことはなかったが、この四年前に薩摩を訪れ探元と交流のあった琉球の儒者程順則（一六六三～一七三四）の仲介によつて北京で題

賛が入れられたと考えられる。当時の薩摩藩、琉球、清国の文化的交流の一端を物語る興味深い資料といえる。

探元は、八十九歳の長寿を全うするまで多くの作品を描き、薩摩画壇隆盛の礎を築いた。その墓は、木村家ゆかりの幸加木神社（鹿兒島市小野町）近くにある。



清国駐在参府参事官程順則の題

自画像の人物の部分



自画像の全体

※上部の題賛には、「法淨居士、名前は探元、姓は平。若くして物事の道理に精通し、絵画の技術で知られた。あなたはまさしく無欲で執着心が無く、心が安定して静かであります。探元殿のすばらしさは誰に比肩しましょうか、まさしく唐代の詩人画家王維こそふさわしいでしょう。わたくしはあなたを仙人世界である蓬萊、瀛洲の住人のごとく思っております」という内容が書かれている。



追憶～五木東小～



厳しかった冬の生活



廃墟の飼い猫

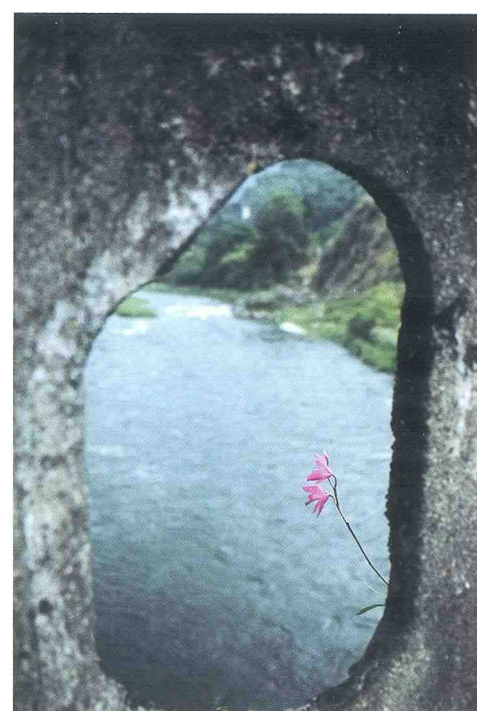
「忘れてはいけない風景」 ～子守唄の里～

鹿児島工業高等学校写真部

月野 香	慶田 祐子
持留 麗	中間 由利恵
佐藤 明子	中村 舞
北村 佳代子	水間 文香



最期(?)の風景



欄干に咲く一輪の花



置き去りにされた「ほこら」

スポーツ吹矢



少しずつ普及し、人気が出てきている新しいスポーツ。腹式呼吸をしながら、集中して的確に射す。

よかTIME YOKAタイム

下村 カツ子さん

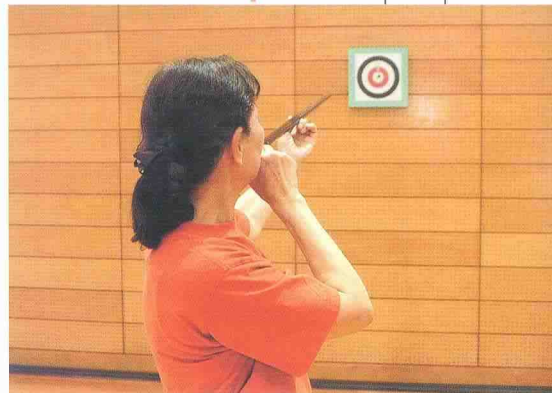
どんなスポーツですか

長さ1.2mほどの筒にプラスチックフィルムでできた円すい形の矢を入れ、的確に射るものです。

矢の吹き方は

矢を入れた筒を両手で持ち、鼻から自然に息を吸いながら手を高く上げます。次に、手を下ろしながらお腹をへこませつつゆっくりと口から息を全部吐きます。そして、鼻から息を一気に吸って筒を口元に持つていき、お腹をへこませると同時に的に向かって「プツ」と吹きます。吹く前に2回息を吸わないと1回では吸いきれないんです。

的から6～8m離れて矢を吹く



健康にいいそうですね

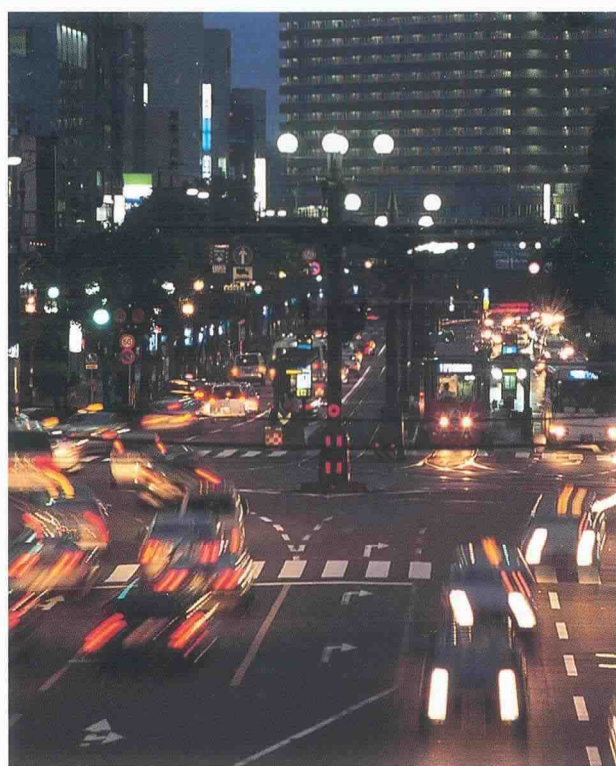
腹式呼吸をするので、おなかの脂肪がとれ、肺活量が増えたようです。家で毎日20～30分練習しますが、すぐに体が温かくなります。

なぜスポーツ吹矢を

以前テレビで見たことがあって興味を持ちました。一年ほど前、機会があり体験したところ、手軽にできて楽しかったのですごく始めました。吹いた矢が的に当たるとうれしいですね。「パシッ」といい音がするんですよ。

街角

ウォッチング
～高見馬場～



わが家の味 「くすくす」 「野菜の マリネソース」

青木さんファミリー
[小川町]



家庭の数だけ食卓があり、家庭の数だけ語らいがある。テーブルに広げられた自慢の料理は、家族の笑顔を演出する。

鹿児島市内におよそ23万5千世帯。一人から大家族まで食卓の風景はさまざま。わが家の味は家庭をどのように彩っているのだろうか。

野菜を煮込む香りが、家中を漂っていた。台所では、フランス料理店のシェフをしている貞盛さんと、栄養士である五百子さんが、楽しそうに料理を作っている。

貞盛さんのフライパンさばきは絶妙で、その隣で五百子さんが材料の下準備をしていく。そして、娘の志保乃さんの帰りを待ちながら、本格的なテーブルセッティングが進む。

今日はちよつと特別な日。でき上がった料理を家族で囲み、元気のある乾杯で食事が始まった。同時に、学校での出来事など楽しい会話も始まる。

野菜の水分を利用し、少ない水で調理できる、暑い国ならではの料理クスクス。お米のように見えるのは、実はムールという食べ物で値段が高め。パサパサに見えるが、食べてみると水分を含んだ粒々が、いつのまにか口の中の水分と混ざり合つてなめらかな舌ざわりでのどを流れていく。そして、このムールを一口では食べられない大きさに切った野菜と肉と一緒に食べる。

「これはオムレツや蒸し鶏など、何にでも合うんですよ」と食卓の中央に出されたのは、マリネソース。ソースという

今回のレシピ

「クスクス」

1. 材料(4人分)

鶏肉(羽身)200g、タマネギ150g、ピーマン50g、ナス150g、ズッキーニ150g、トマトホール120g、ニンニク1かけ、ヒヨコマメ20g、ニンジン150g、オリーブ油20cc、トマトペースト大さじ1、ムール250cc、水250cc、小麦粉、ローリエ、タイム、パプリカ、塩、コショウ、バター、アリサ

2. 調理手順

- ①タマネギ、ピーマン、ナス、ズッキーニ、ニンジンを大きめに切る。
- ②鶏肉に塩・コショウ・パプリカをふり、小麦粉をまぶしオリーブ油を入れたフライパンで炒め、トマトペーストをからませる。
- ③厚手の鍋を温めオリーブ油を入れ、ニンニク・野菜・ヒヨコマメ・②の鶏肉を炒め、軽く塩・こしょうしてタイム・ローリエを入れて煮込む。

- ④ムールは分量のお湯に入れバター・塩・こしょうで味付けし軽く沸騰したら火を止め蒸らす。
- ⑤皿にムールをのせ、③を上にかけてアリサを添える。



「野菜のマリネソース」

1. 材料(4人分)

ニンジン80g、タマネギ80g、ピーマン70g、セロリ50g、香味オイル150cc、チリソース、タイム、パプリカ、パセリ、塩、コショウ、ケチャップ

2. 調理手順

- ①ニンジン・ピーマン・セロリをみじん切りにし、水けを切る。
- ②タマネギもみじん切りにし塩でもみ、水にさらし水気をよく切っておく。
- ③①、②の野菜をボールに入れ塩・コショウ・タイム・パプリカ・パセリを入れ、ケチャップ・チリソース・香味オイルを加えてよく混ぜ冷やしておく。

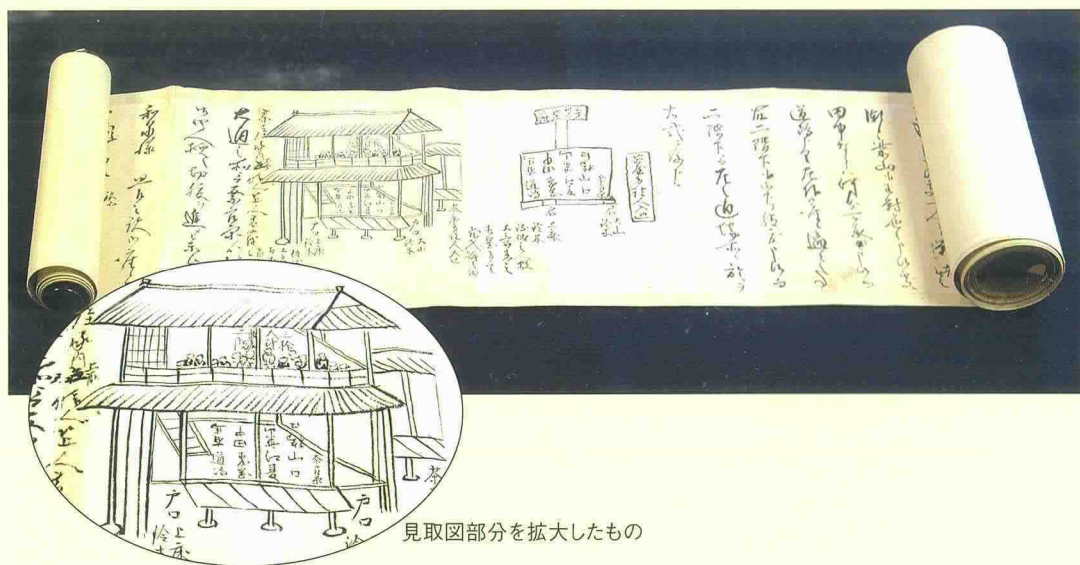


感じがしないのだが、口の中に入れると野菜に含まれているたくさんの水分が口いっぱいになる。に広がる。

「家族と過ごすのが大好きなので、休みの日は一緒に料理を作ったり、食事を楽しんだりします。今日も息子と買い物に行つたんですよ」と貞盛さん。季節の食材をふんだんに使った料理がいつかの食卓は、もてなしが好きで、家族や友人との会話を大切にする青木家を象徴しているようだった。

維新ふるさと館 「寺田屋事件の見取図」

(「是枝柳右衛門の筆記」より)



文久2年(1862年)4月23日夜、島津久光の命を受けた奈良原喜八郎(繁)ら鎮撫使9人は、京都伏見の船宿「寺田屋」に集まって倒幕決起を実行しようとする薩摩の過激攘夷派の説得に当たりましたが失敗し、階下で斬り合いとなりました。

二階には西郷従道、大山巖など志士約30人がいましたが、階下の異変に気づきませんでした。血まみれになって階段を駆け上り、刀を投げ捨て、必死で説得する奈良原の姿に二階の志士たちは驚き、その場は収まりました。

しかし、この事件で、有馬新七など攘夷派8人と鎮撫使1人が死亡し、後日、浪士を含む多くの志士が斬殺、謹慎などの厳しい処分を受けました。

この見取図は、攘夷派の一人であった

是枝柳右衛門が、その事件直後に記したものです。図は斬り合いの始まる前の話し合いの場面です。事件当時の人の配置や様子など、寺田屋事件の見取図として唯一のもので、大変貴重な史料となっています。

是枝柳右衛門は谷山松崎の町人出身で、脚の病気を患っていたため、寺田屋事件では志士たちの連絡係を務めていました。

事件後、首謀者の一人として屋久島に遠島になり、2年後に赦免^{しゃめん}の命が出されましたが、屋久島で亡くなりました。

寺田屋は薩摩の定宿であり、後に、坂本龍馬の妻となるお龍が、女将のお登勢とともに住んでいた宿で、龍馬の隠れ家となったことでも知られています。

(維新ふるさと館 福田 賢治)



わが町上空

支所編

「吉野支所周辺」

本市の北部に位置する吉野地区。人口約4万6千人を擁するこの地区は、市内の軟弱野菜の主産地であり造園業も盛んです。

豊かな自然を生かし、寺山ふれあい公園や少年自然の家、寺山自然遊歩道、吉野公園など、レクリエーション施設も充実しています。

この地区の行政サービスの拠点となる吉野支所は、平成9年に建設されました。支所の周辺には、旧吉野出張所や県立鹿兒島養護学校、御召覧公園などが見えます。

現在、吉野中学校の北部では区画整理を行っており、今後、より快適に住みよいまちづくりが進められます。

以前は吉野村だったこの地区。昭和9年に本市に編入し、来年で70周年を迎えます。



編集・発行／鹿児島市広報課

鹿児島市山下町11番1号

電話 216・1133

印刷・レイアウト／洲上印刷株式会社

